

# バックオフィス業務の デジタル化改革セミナー

～脱 紙管理！デジタルシフトの重要性～



## 目次

- 00 プロローグ「日本企業のデジタル化の現状と未来予測」
- 01 バックオフィス部門デジタル化の必要性について
- 02 最新のIT製品の動向
- 03 IT製品の選び方について・事例紹介

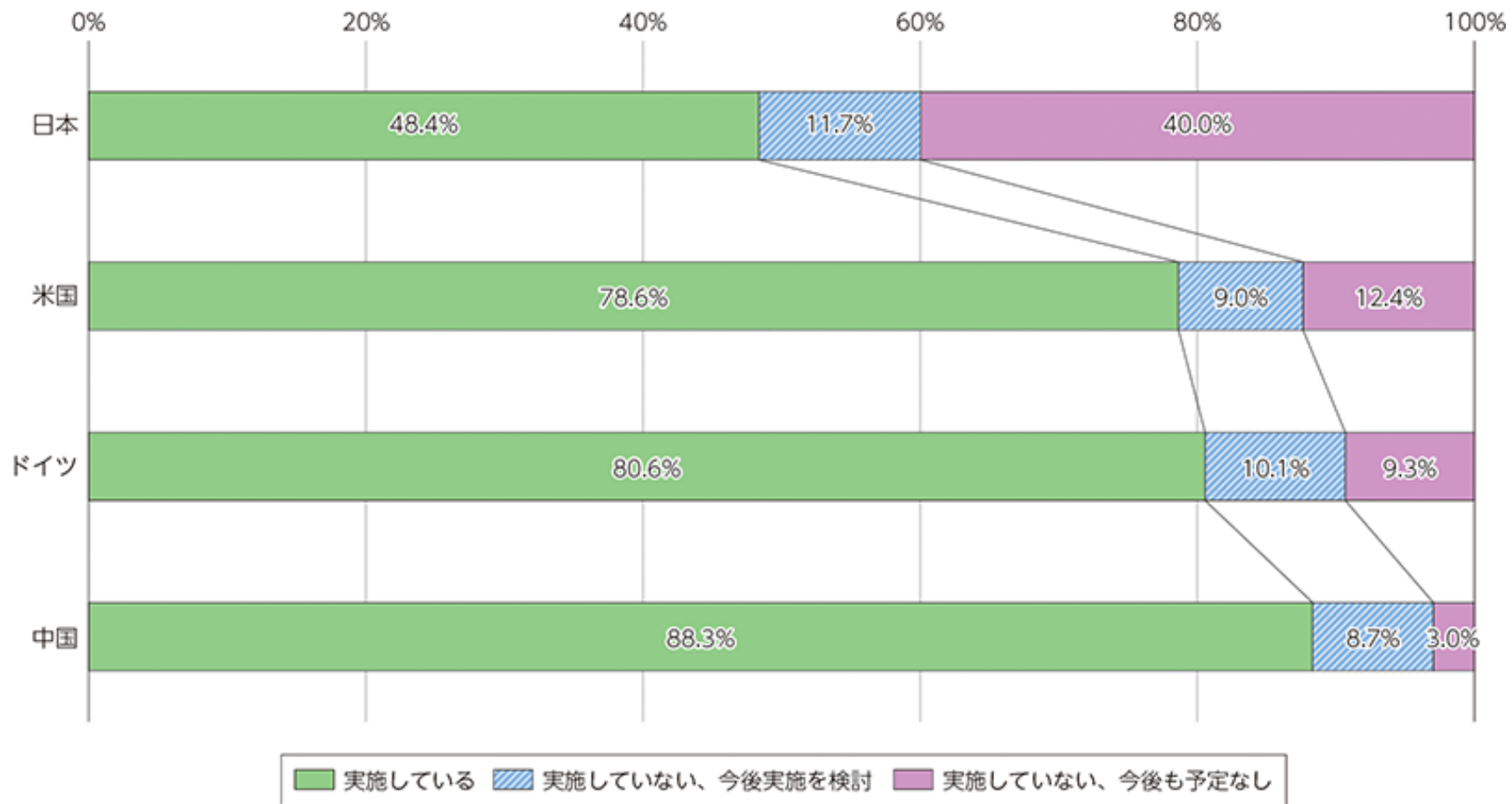
# プロローグ：日本企業のデジタル化の現状と未来予測

# プロローグ

## 日本企業のデジタル化の現状と未来予測

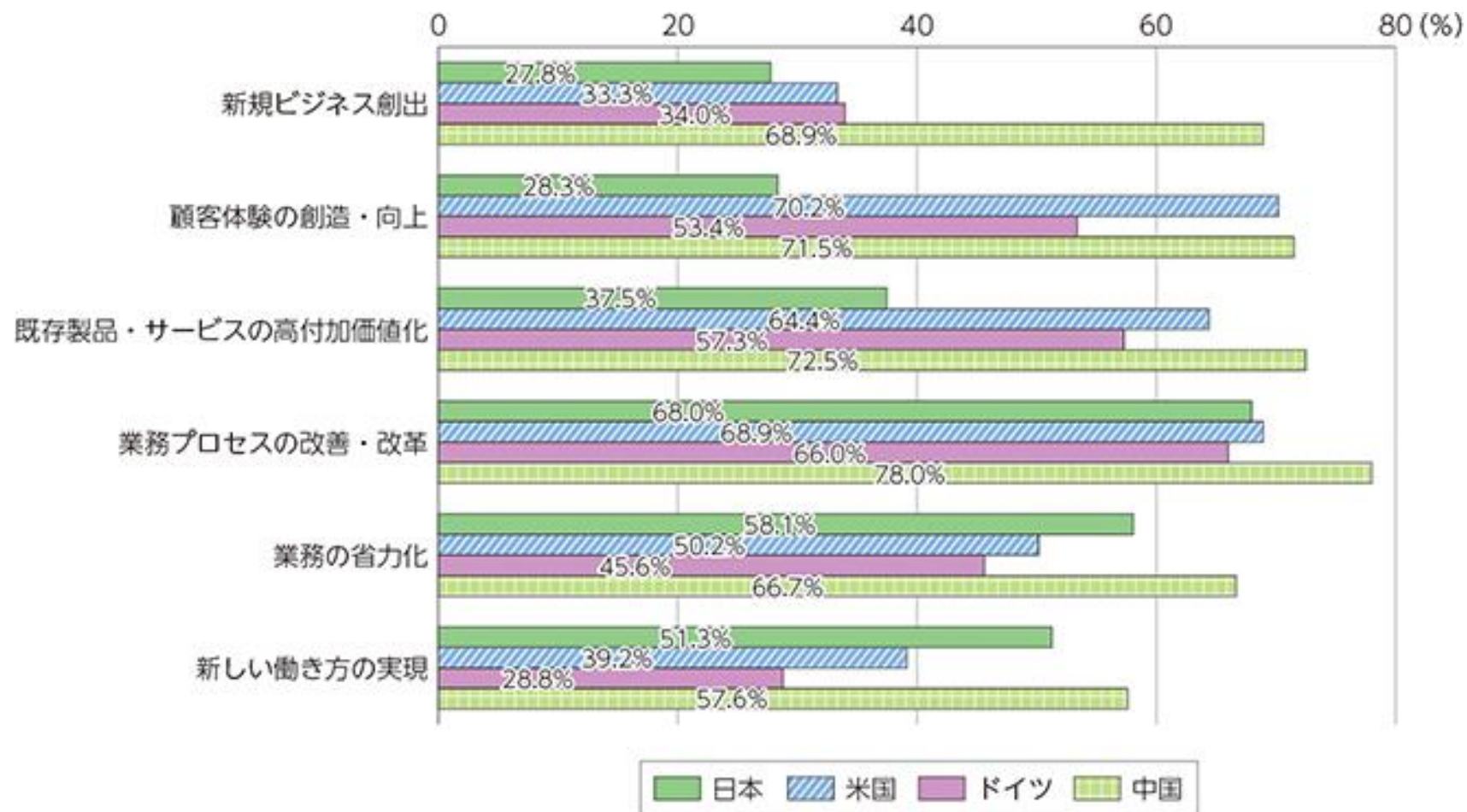


## デジタル化の実施状況（各国比較）

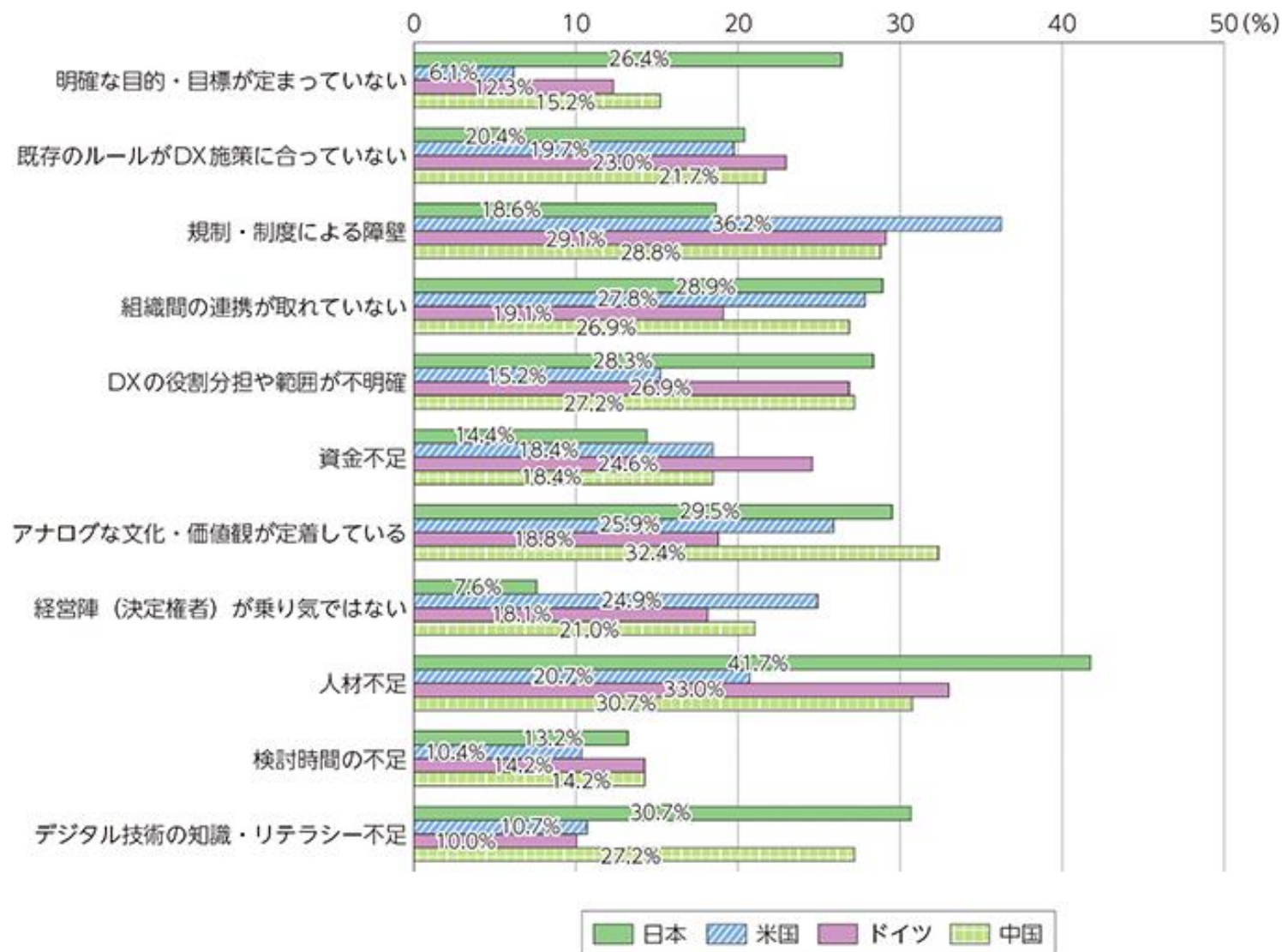


※デジタル化に取り組んでいる企業を抽出するためのスクリーニング調査の結果に基づく

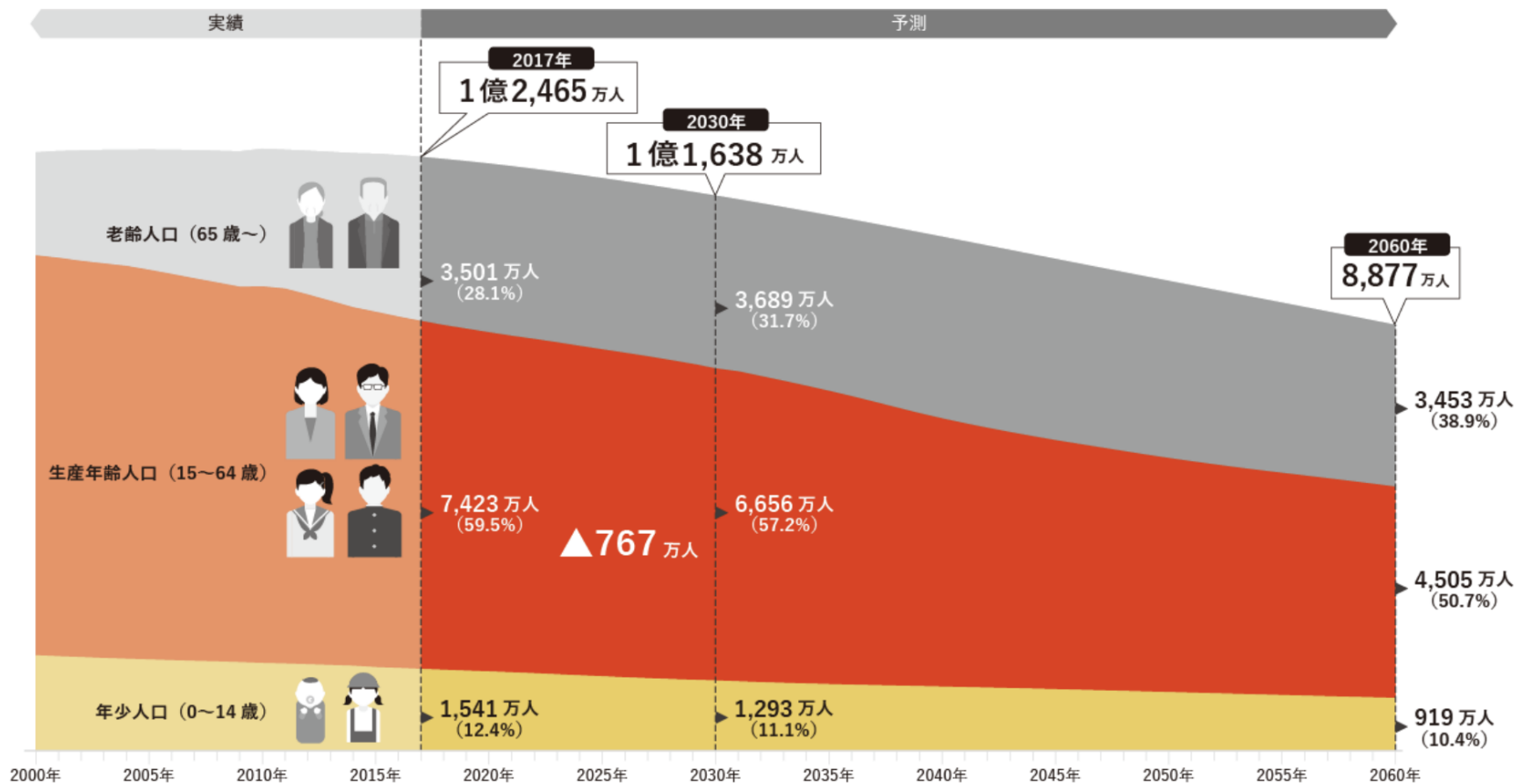
## デジタル化推進に向けて取り組んでいる事項（各国比較）



## デジタル化推進における課題（各国比較）



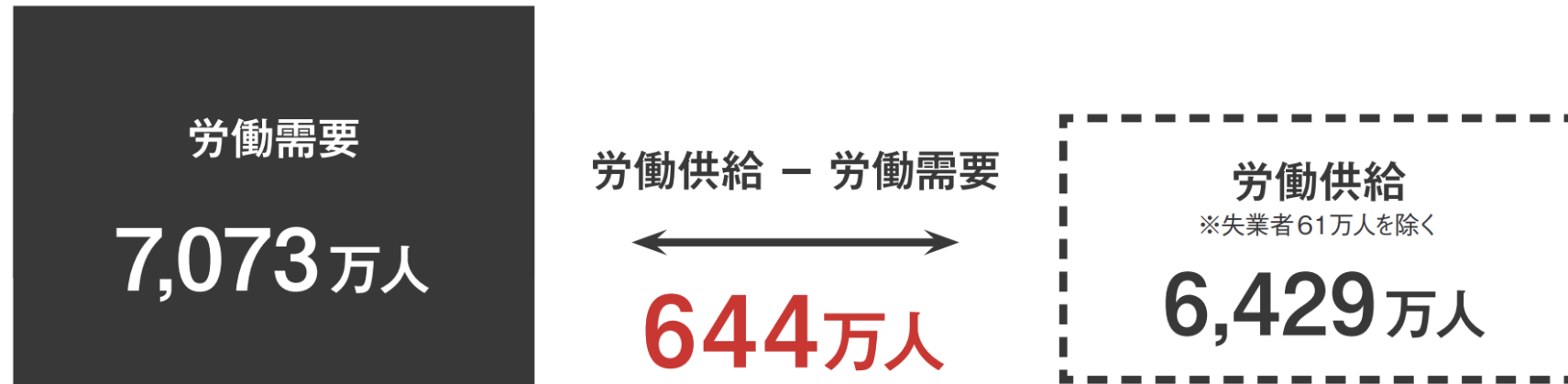
## 将来推計人口（日本人人口）



出所：総務省「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（2017）」

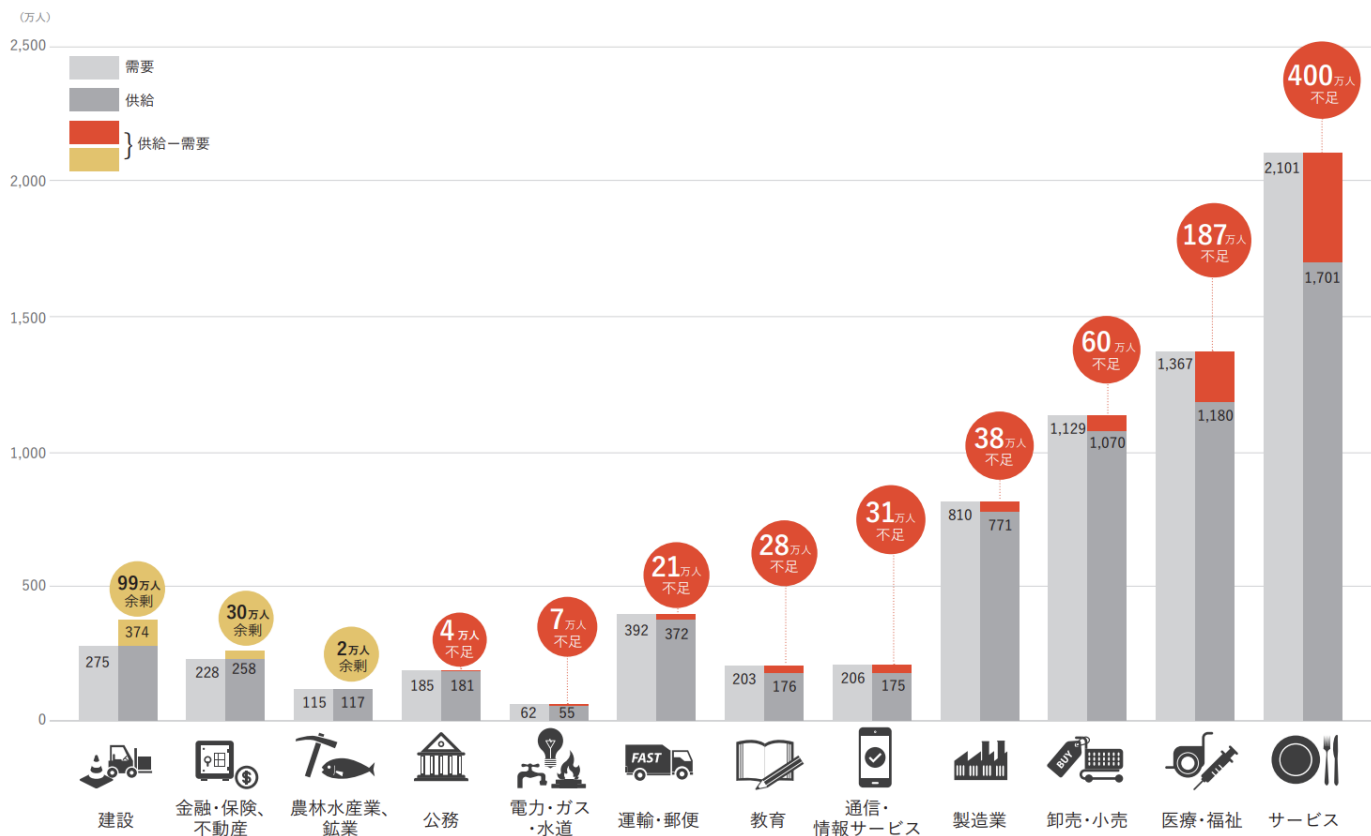


## 2030年にどのくらいの人手不足となるか？



# 2030年にどのくらいの人手不足となるか？

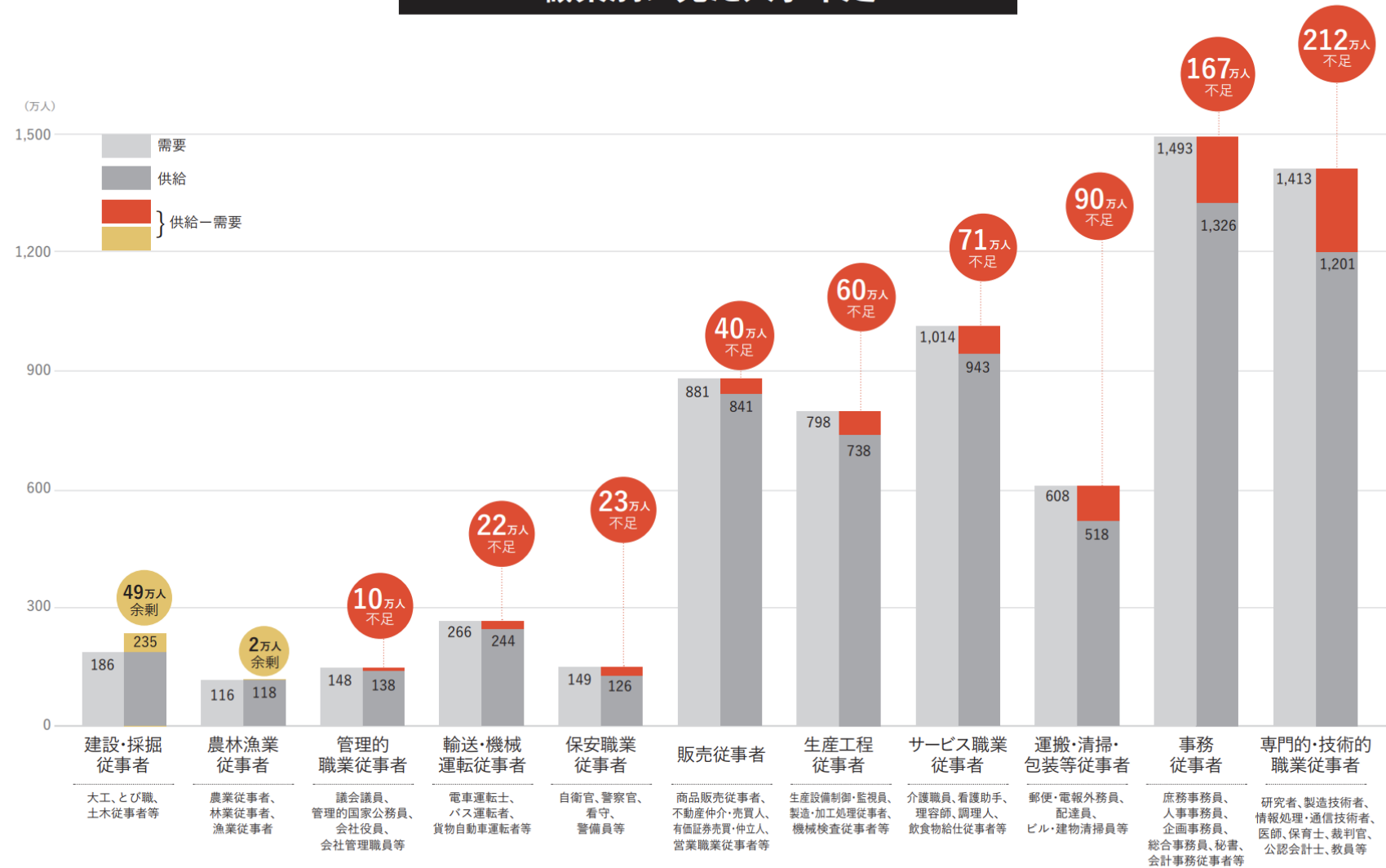
## 産業別に見た人手不足



**労働需要** 日経センター「第44回 中期経済予測」における産業別実質国内生産額の2030年予測値から産業別のGDP予測値を計算。2010年以降の生産性向上ペースが2030年まで続いたと仮定し、GDPをその生産性で割って産業別の需要を算出。

**労働供給** 国民経済計算における2007年以降の産業別就業者数の増減ペースが2030年まで続いたと仮定し、産業別の就業者数シェアを算出。そのシェアを全体の労働供給に乗じて、産業別の労働供給を算出。

## 職業別に見た人手不足



※2017年労働力調査より、産業別の職業別就業者数シェアを取得。前述の産業別の労働需要・供給に産業別・職業別就業者数シェアを乗じ、職業単位で合算して職業別労働需要・供給を算出。

## 重要なキーワード

①生成AI

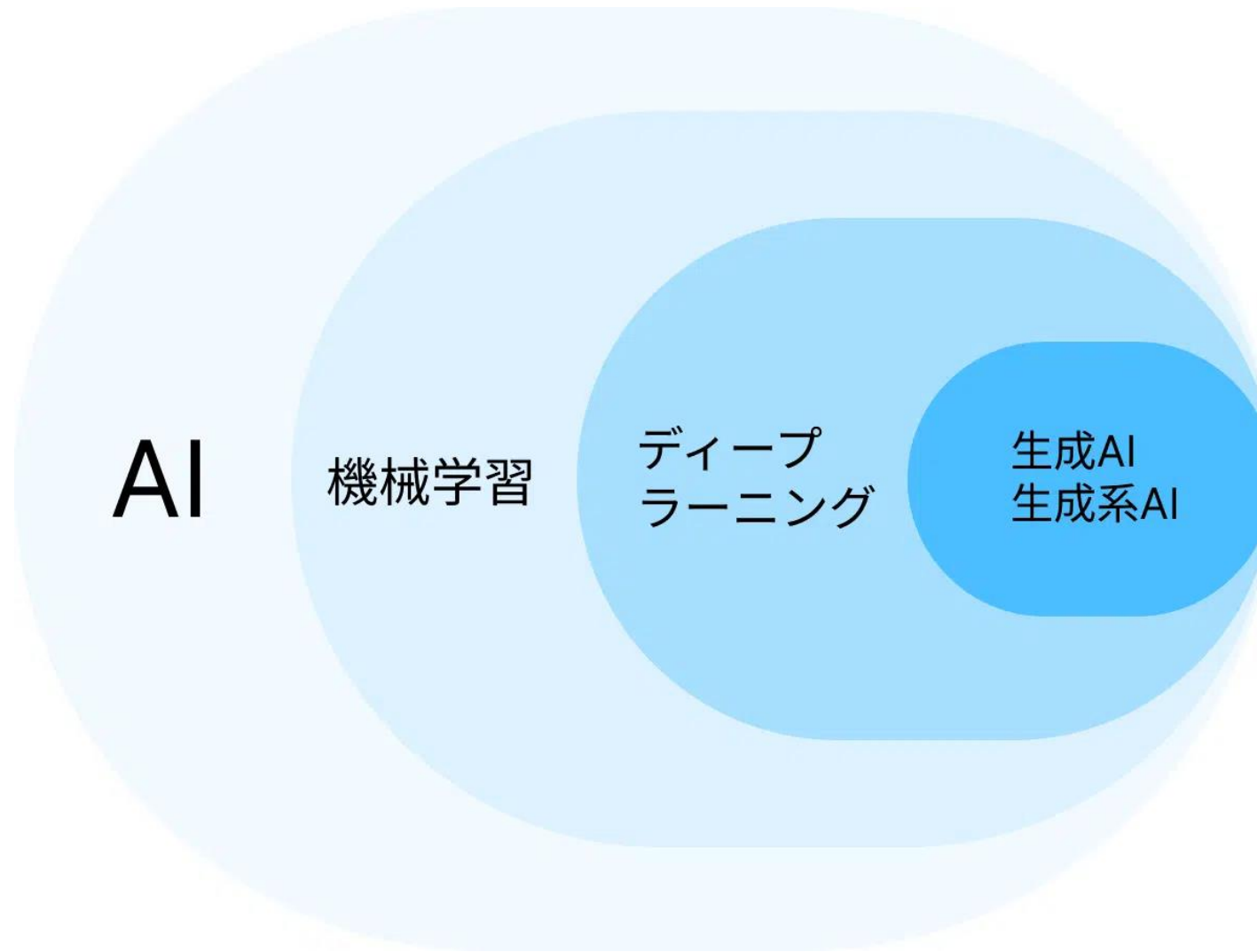
②BPaaS

# ①生成AI

## 「従来のAI」と「生成AI」の違い



引用：DOORS DX MEDIA



引用：DOORS DX MEDIA

## 生成AIの種類・できること

### テキスト生成

「プロンプト」送信で  
自動的にテキストを生成



代表例：ChatGPT

### 画像生成

テキストによる指示で  
オリジナル画像を生成



代表例：Stable Diffusion

### 動画生成

テキストによる指示で  
数秒ほどの動画を生成



代表例：Gen-2

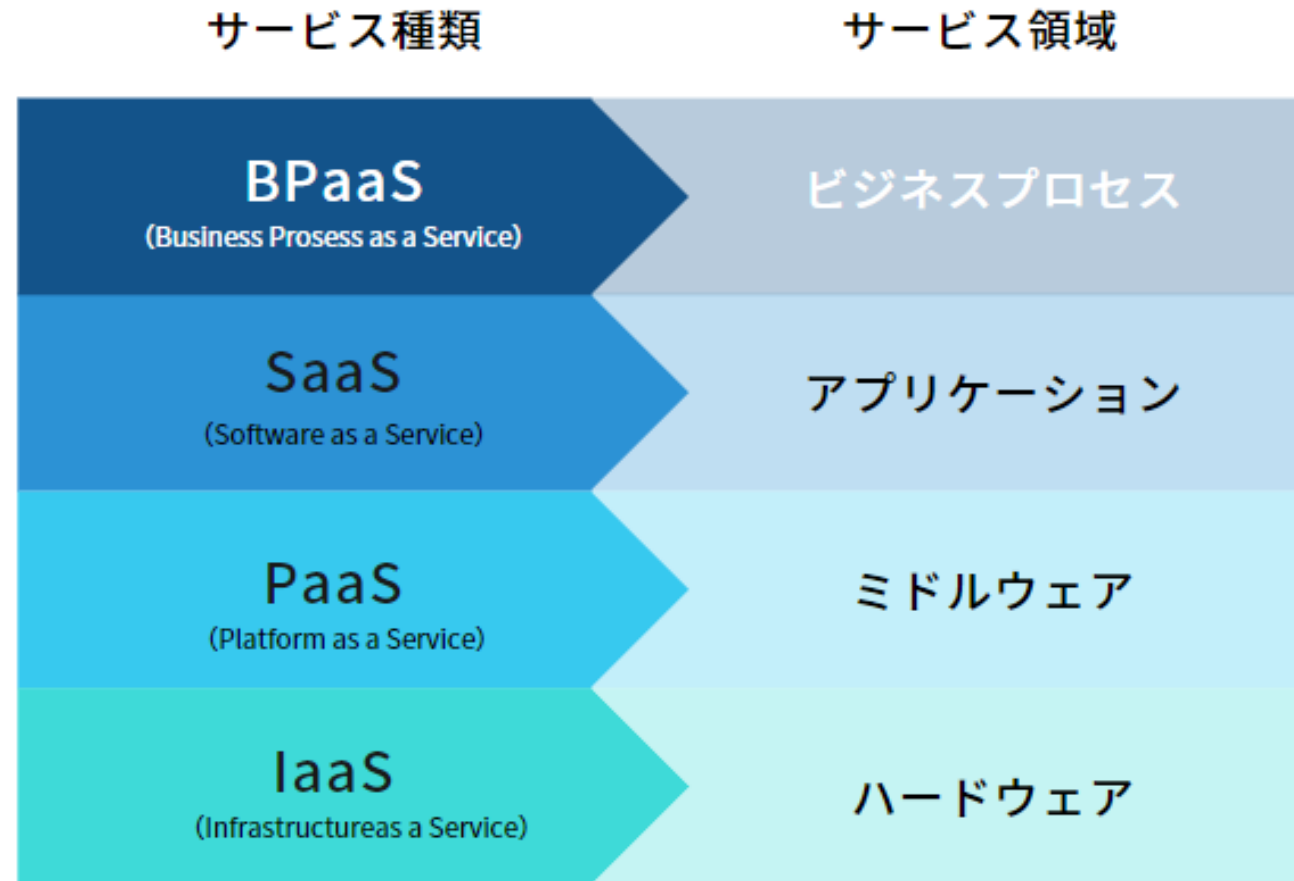
### 音声生成

音声/テキスト入力で  
新たな音声を生成



代表例：Voicebox

引用：DOORS DX MEDIA



引用：B2B Enablement media





人間が本来向き合うべき所に注力でき  
人間の「知」と「感性」が強く試される未来へ

## 01

# バックオフィス部門デジタル化の必要性 について



## バックオフィス部門デジタル化のメリットは？

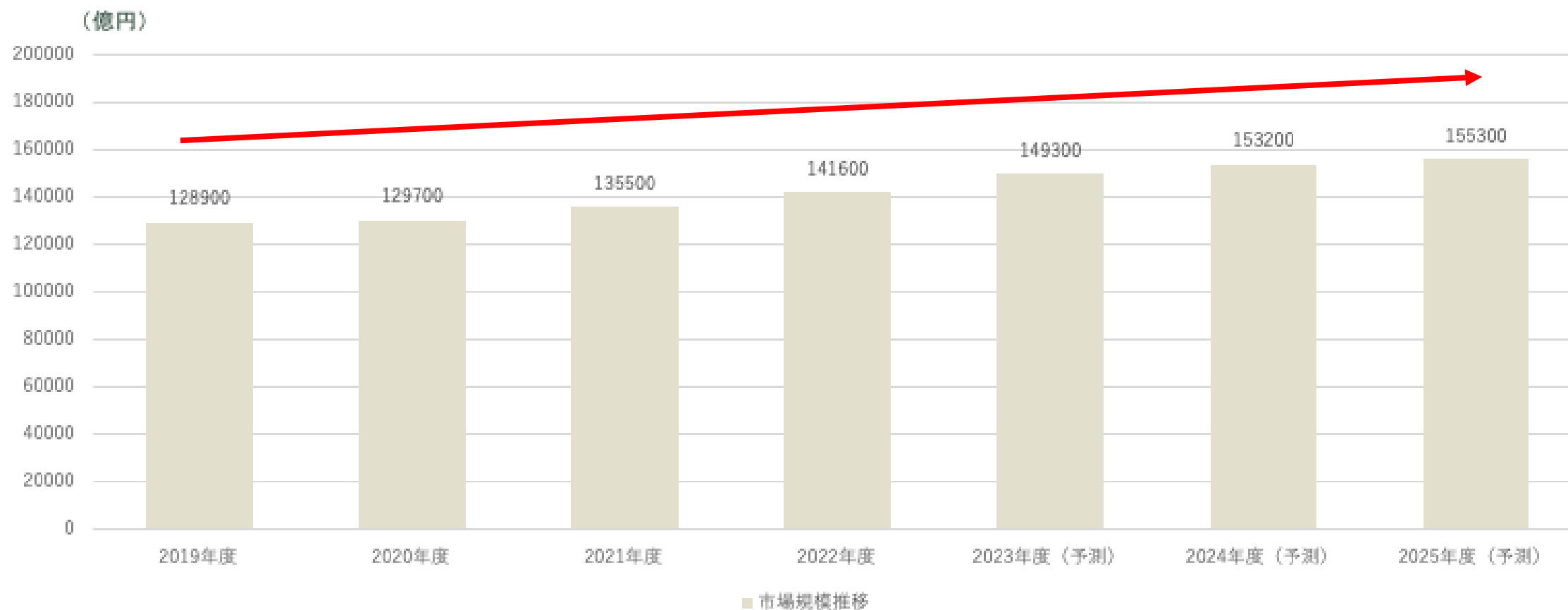
- ①業務効率化
- ②コスト削減
- ③採用力・定着力UP（リモート化）
- ④経営の意思決定のスピードUP

## 02

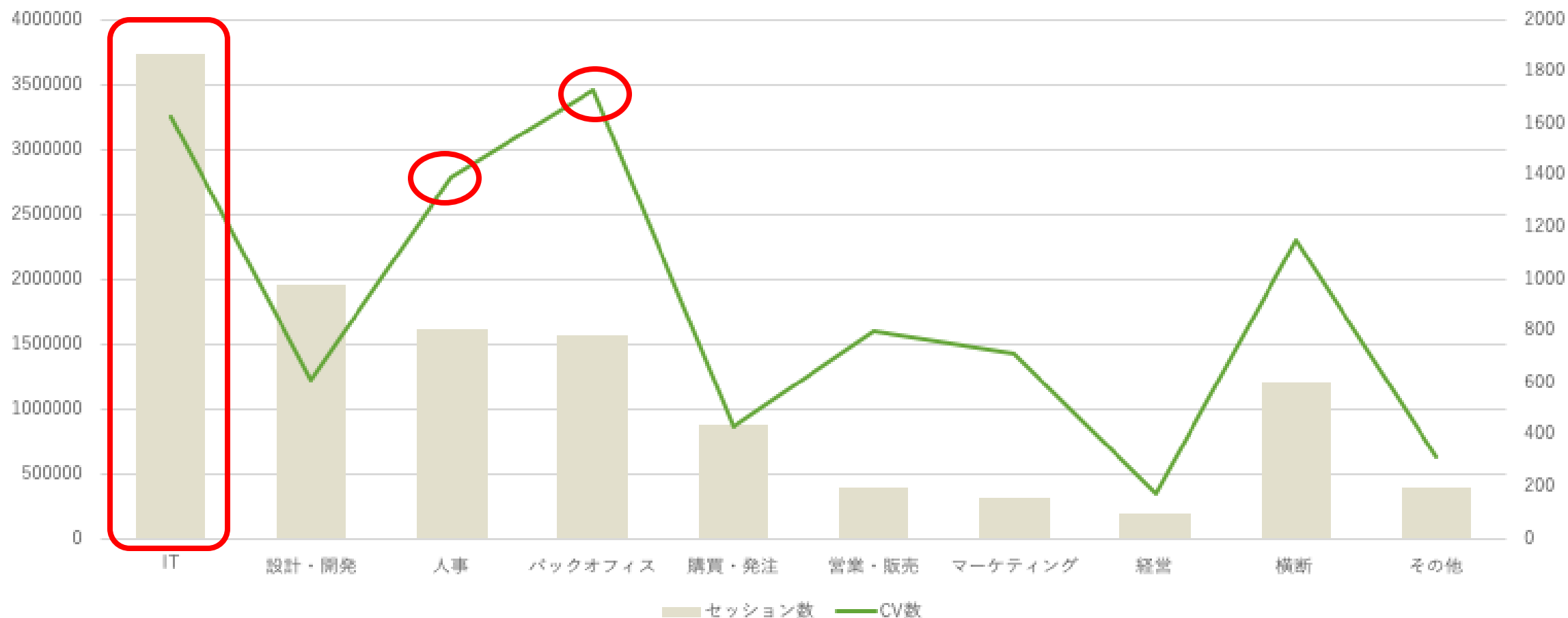
## 最新のIT製品の動向



- 2024年度の国内民間企業のIT市場規模は15兆3200万円程度。
- 今後も緩やかに市場が拡大していくと考えられる。

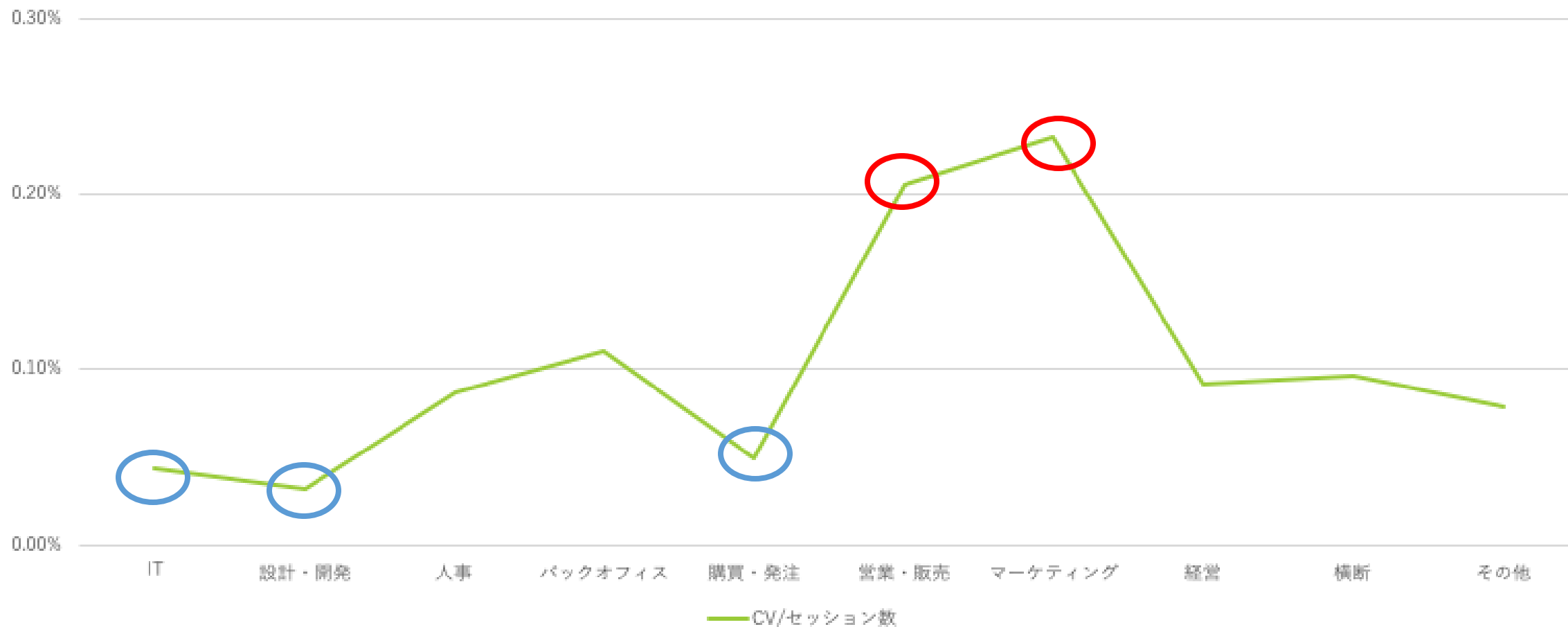


- (ITトレンドの記事や掲載製品による影響はあるが)、「IT」に関する検索を行っている方が多い。
- 「人事」や「バックオフィス」は検索はされていないものの、CV数が多い。情報収集層より製品導入を検討している層が多い様子。






































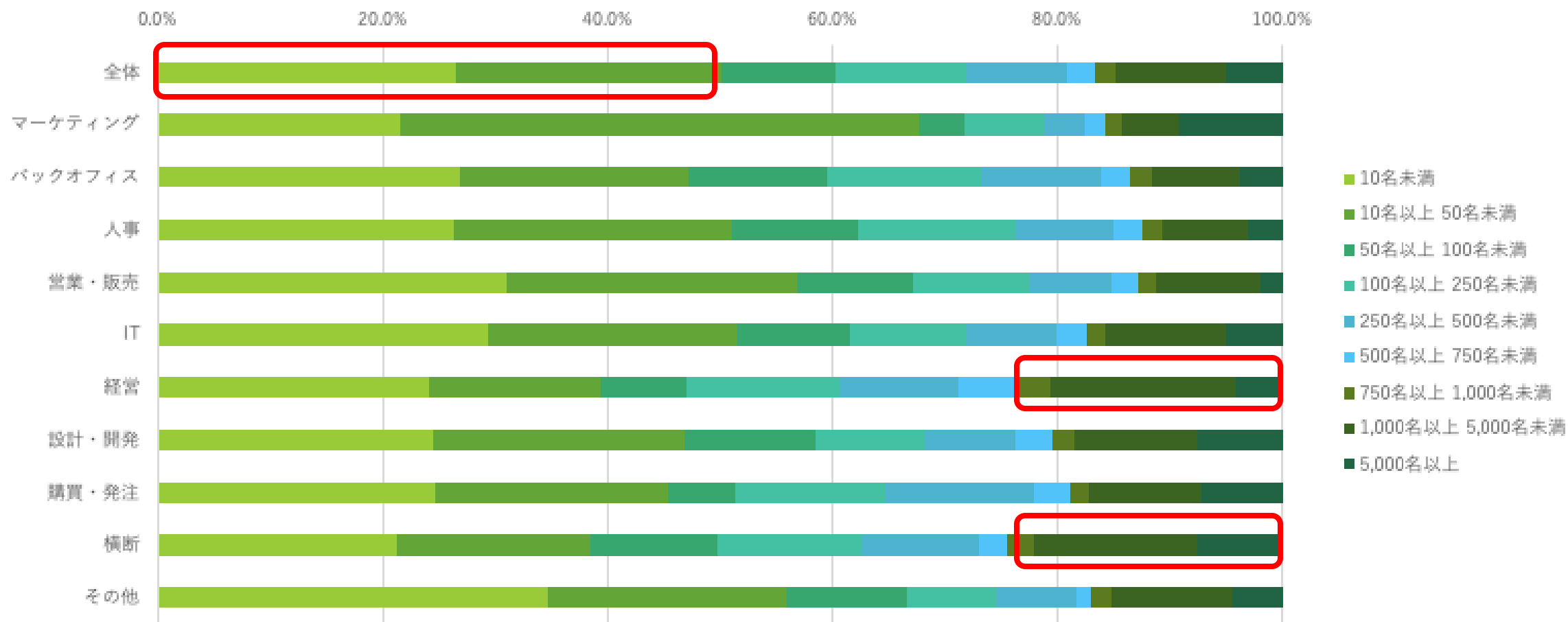
- セッション数におけるCV数の割合を見ると、「マーケティング」「営業・販売」が高く、情報収集層より製品導入検定層が多い傾向。
- 一方、「設計・開発」「IT」「購買・発注」では情報収集のために検索している様子。



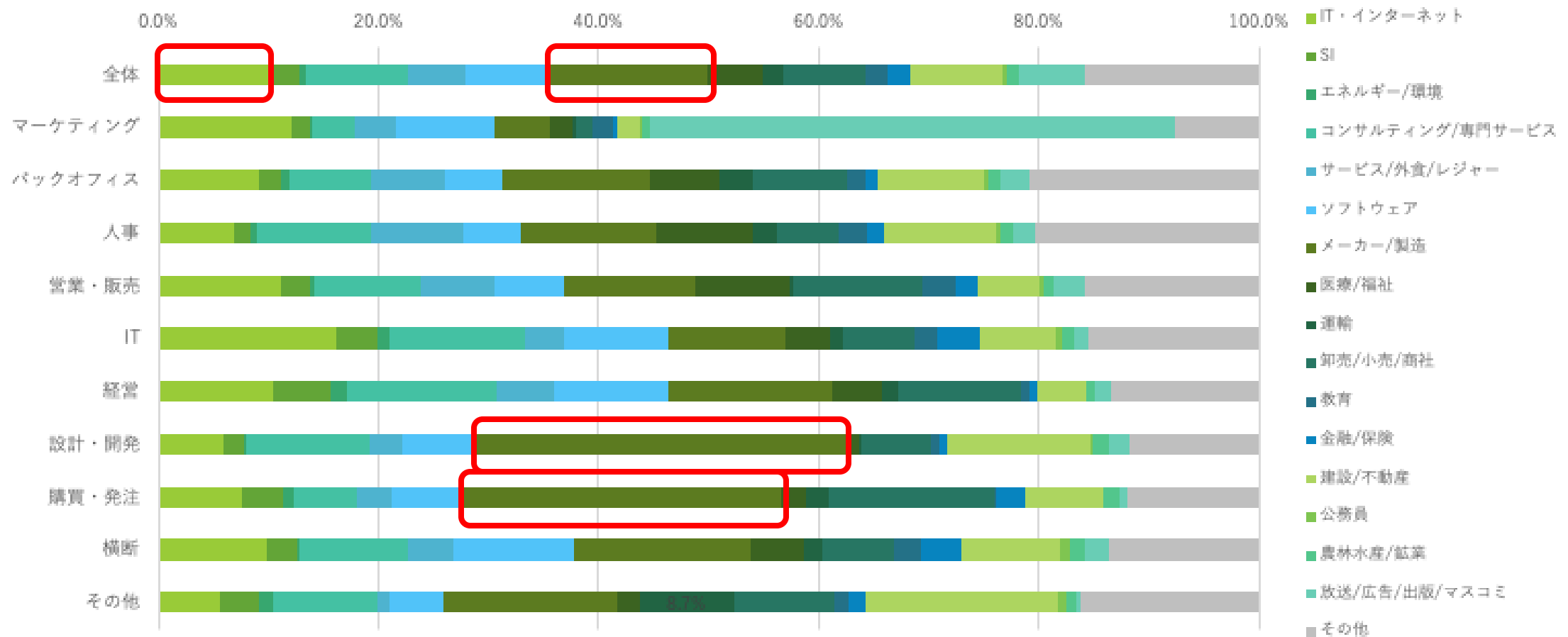
- 【経営】 は平均製品数が最も多く、資料請求時に製品を比較したい傾向にある。一方で、マーケティングは少なく、製品を絞り込んで資料請求している様子。

	資料請求製品数	CV数	CVあたり平均製品数
全体			
マーケティング			
バックオフィス			
人事			
営業・販売			
IT			
経営			
設計・開発			
購買・発注			
横断			
その他			

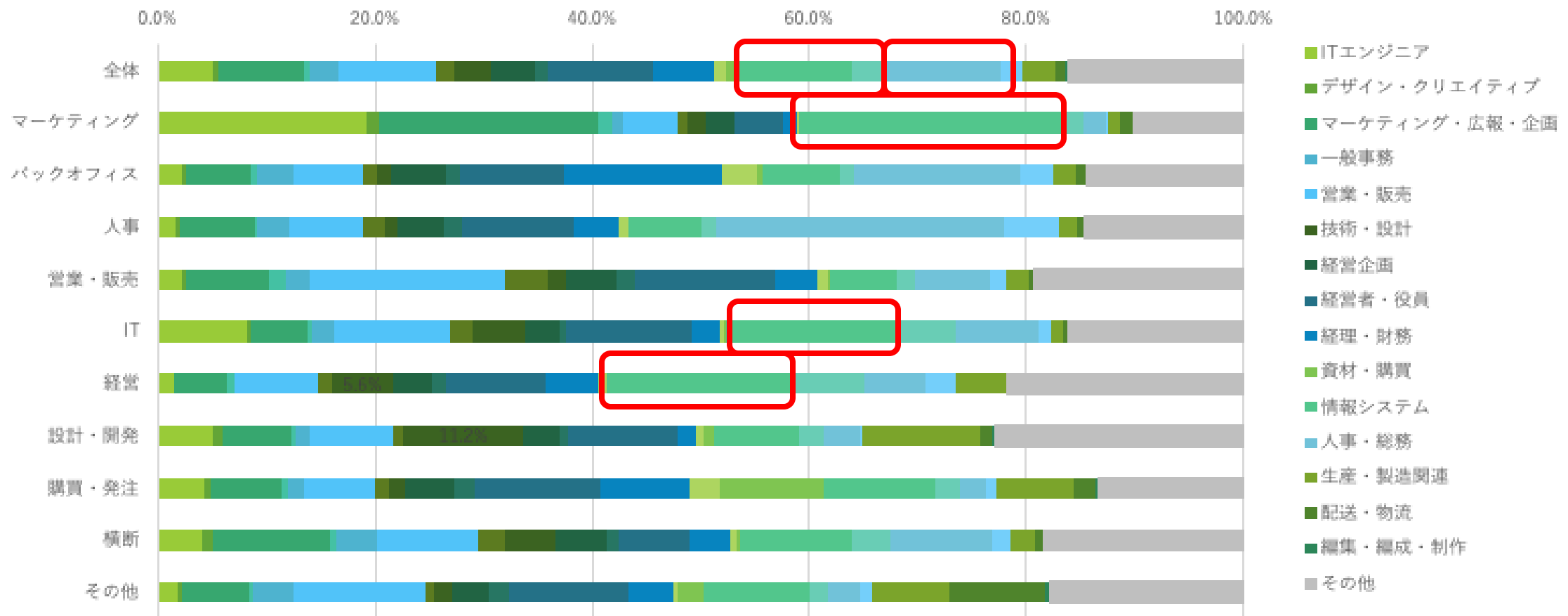
- 従業員規模が「50名未満」が半数程度。
- 職種別でみると、「経営」「横断」は従業員規模が大きい傾向。



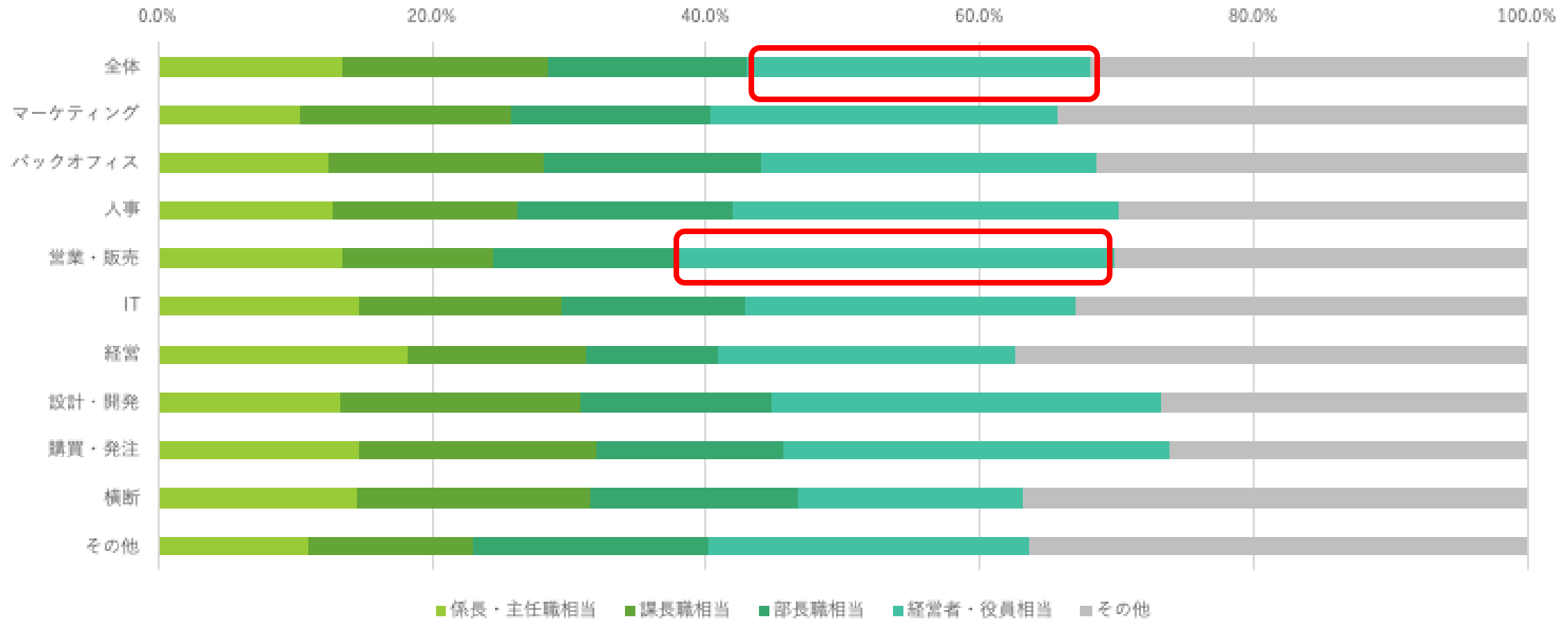
- 全体では、「メーカー／製造」「IT・インターネット」の順で資料請求されている。
- 「設計・開発」「購買・発注」では、3割前後が「メーカー／製造」にのぼり、顕著である。



- 全体では「人事・総務」「情報システム」の資料請求数が多い。特に、「マーケティング」「経営」「IT」は、事業部門より「情報システム」で資料請求している様子。



- 全体では、「経営者・役員相当」が25%程度を占める。営業・販売では、特にその傾向にある。



## 03

## IT製品の選び方について・事例紹介



①DX化への経営の理解とビジョン

②導入の責任者

③既存システムとの連携

④料金



製品トップ

仕様・動作環境

価格・料金プラン

評判・口コミ (1557)

事例

## 《ジョブカン勤怠管理》の良い評判・口コミ

月毎の勤務状況を一覧で見ることができるので、一目で勤務状態を理解することが出来るのが良い点として挙げられました。また、直感的に利用でき、スマホから手軽に打刻できる点も便利で使いやすいようです。オンラインで出退勤の管理や把握ができることにより、交通費や人件費の削減にもつながるようです。

### 勤務状況が一覧で見やすい

月毎の勤務状況（出勤日、日の勤務時間、月の勤務時間、残り有給数）が一覧で見ることができ、一目で勤務状態を理解することが出来ます。ネットワークが繋がらなくなり、打刻が出来たか分からなくなったことがありました。打刻のPCにしっかり情報が保存されており、ネットワークが復旧後即座に反映されたため、特に大きな問題にはならなかったです。

### ペーパーレス化で提出・承認が容易になる

ジョブカンは直感的に利用でき、特に操作研究など無くても問題なく、使いやすいと思います。アプリやインターネットがあれば簡潔に出退勤が登録でき、紙の時に比べ大変楽です。コロナ禍で出社する機会が減り、出勤簿を紙で提出することが課題となっていました。ジョブカンに変えた事で、オンラインで出退勤の管理や把握ができ、交通費や人件費の削減ができました。今後も活用したいと思います。

### 従業員の勤怠管理に便利なツール

多くの従業員を抱える飲食店などでは、かなり役立つツールであると言えます。スタッフ一人ひとりが、各自で出勤退勤の打刻を打てる、希望のシフトを毎月入力して送信出来るので、店舗の責任者や管理人の人たちが一目で従業員たちの希望シフトや勤怠を確認できるのが良い点だと思います。

^ 閉じる



## 《ジョブカン勤怠管理》の悪い評判・口コミ

打刻の修正は操作が難しく、スマートフォン等を使い慣れていない従業員では操作ができず簡単に操作できるようにしてほしいという声が多く見られました。また、機能がシンプル過ぎるので少し込み入った勤怠を管理しようとする設定できないケースもあるようです。

### 打刻が少し使いにくい

打刻自体の画面、打刻の修正画面、が使いにくく感じました。特に打刻の修正は操作が難しく、スマートフォン等を使い慣れていない従業員では操作ができませんでした。もう少し簡単に操作できるといいと思います。

### 機能が少ない

意外と機能が無い。そもそもシンプル過ぎるのですこし込み入った勤怠を管理しようすると想定が無いのか設定できない。かなり利用者側の妥協を要します。

### 間違えた時の修正依頼が面倒

融通が効かないところがある。電車の遅延や間違えて勤怠を打ってしまった際、管理者の権限がなければ修正が効かず、わざわざ上司に説明して修正依頼をかけるのがとても面倒でした。

へ 閉じる

導入に関してのお悩み受け付けます。